

薬の上手な飲ませ方

小さなお子さんにお薬を飲ませるのは、なかなか大変です。しかし、いくら大変だからといって、医師の指示通りに飲ませてあげないと、お薬の効果は半減してしまいます。そんな時には、お母さんのちょっとした工夫で、上手にお薬を飲ませることができます。

<飲ませる時間と回数>

熱が 40℃前後出ているときで

- 乳児は、満腹の時、口の中に物を入れられるのを嫌がるものです。授乳後（食後）すぐお薬を飲ませると吐いてしまうことがあります。そのため赤ちゃんには食前、食後にあまりこだわる必要はありません。
- 吐き気がある場合や早く薬を効かせたいときは、食前がよいでしょう。
- 1回分が1回で飲めそうにない時は、夜眠るまでに4回でも5回でも分けて、根気よく飲ませましょう。1日の分量は必ず1日のうちに飲ませましょう。

<水薬の飲ませ方>

- まずピンをよく振ってから、1回分だけスプーンかスポイドにとって口の奥に入れてあげます。
- 哺乳ピンの乳首を利用してもいいですし、コップで飲める子はコップの使用でもいいです。

水薬の保存：冷蔵庫に保存してください。

飲み残しは速やかに捨てましょう。

<粉薬の飲ませ方>

- 少量の水で練って、清潔な指で上あごや頬の内側につけ、その後、水やミルクを飲ませるといいでしょう。
- 水薬のように水で溶かしてもいいでしょう。
- オブラート・カプセルが薬局等に販売されていますので利用しても構いません。

粉薬の保存：高温、多湿をさけ、乾燥剤入りの容器に保存していれば1年ぐらゐの使用は構いませんが、変色、変質している場合効き目が落ちたりしますので内服は止めましょう。

<漢方薬の飲ませ方>

湯で溶いて冷ましてから飲ませてください。

嫌がる時は、少量の砂糖や果汁を加えて飲み易くしてもいいでしょう。

はちみつやジャムと混ぜたり、ご飯へふりかけても構いません。